

1971年、大学を卒業したばかりの4人の心の旅

クラシック・シネマ

『ファンダンゴ』

若き日のケビン・コスナーの初々しいヤンチャっぷりが見られる80年代ロードムービーの佳作。と言っても物語の舞台は1972年。だから劇中に流れるのは1970年代ヒット。オープニングのエルトン・ジョンからノスタルジー全開。余韻溢れるエンディングは心に沁み入ります。

ニューヨークで生きることと死ぬこと。 マフィアの下っ端野郎たちの青春群像。

クラシック・シネマ

『ミーン・ストリート』

巨匠マーティン・スコセッシ監督が自らの実体験を交えて描くニューヨークチンピラ群像。既成曲の抜群の使い方、突発的な暴力描写、盟友ロバート・デ・ニーロとハーヴェイ・カイテルに演じさせるクセのある性格描写などスコセッシタッチは本作から健在。

オレの前には誰にも走らせない！ 伝説のストックカーレーサーの半生

クラシック・シネマ

『ラスト・アメリカン・ヒーロー』

アメリカ最速のストックカーレーサーと言われたジュニア・ジョンソンの型破りな人生を描いた伝記映画。密造酒の運び屋で腕を磨いた反骨心溢れる主人公をジェフ・ブリッジスが好演。「熱血～！」の声が上がるクライマックスは必見！ジム・クロウチが歌う主題歌は名曲。

あなたはあの若者たちのその後を知っていますか？ 伝説の青春映画の続編

クラシック・シネマ

『アメリカン・グラフィティ2』

傑作青春映画『アメリカン・グラフィティ』の正統な続編。1964年から1967年までの毎年の大晦日を同時進行させるだけでなく、画面サイズまで変えて若者たちのその後を描く野心作。その手法故に公開当時は酷評の嵐。しかし今改めて見ると時代の特色が色濃く出ていて見応え充分。

休日登校で反省文を書かされる5人の問題児。 青春映画全盛の80年代を代表する逸品。

クラシック・シネマ

『ブラックファスト・クラブ』

80年代青春映画の達人ジョン・ヒューズ監督の代表作で、公開当時、同世代の共感を集めた佳作。ファッションこそ80年代ですが、登場人物たちそれぞれ抱える悩みは現代の若者にも通ずるものばかり。とは言え本作を見て胸キュンになるのはリアルタイムで本作を観た世代。